

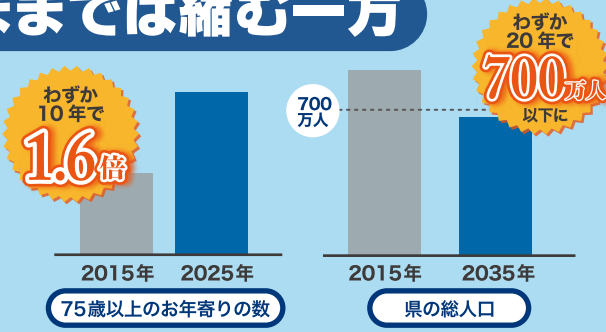
埼玉県の新たな羅針盤

未来へのコンパス

目前に迫る、大波

このままでは縮む一方

現在、埼玉県は全国でも最速のペースで高齢化が進行しています。そして県の総人口（現在730万人）は、すでに減り始めているのが現状です。



しかし、今の県政は・・・

閉じた県政

「県独自」へ不必要にこだわり、国や他の自治体と足並みが揃わず、ちくはぐな行政に。

- 国への要望回数は最少
- 特区の設定ゼロ

削る県政

過度な緊縮財政でサービスと投資を絞り込み、県は縮小均衡へ。

- 10年で5,000億円の借金¹⁾返済
- 県民一人当たりの予算額²⁾は全国ワースト2位の少なさ

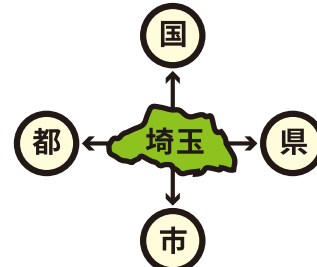
1)一般会計負債残高。臨財債・減収補填債を除く
2)平成30年度一般会計当初

NOW

FUTURE 「未来へのコンパス」へ、舵を!

CO-work

「軸」の県政へ



国・自治体の連携の「軸」となり、一丸となって(CO-workして)県民を支えます!

①国政

②首都圏

③市町村

PATH-ahead

1兆円投資の県政へ



必要な投資を積極的に行い、未来へつながる道(PATH-ahead)を自ら切り拓きます!

①ひと

②まち

③シゴト

CO-work

「軸」の県政

「軸」の県政とは



暮らしには様々な行政が関わります。
国、お住まいの市町村、通勤先の東京都…

その中心にあるのが、埼玉県です。

自分が動くだけでなく、県民の目線
に立って、あらゆる行政を繋ぎ、連携
させ、動かす。

それが、私の目指す「軸」の県政です。

01 国政との連動

国の動きをいち早く掴み、
率先して動きます！



国家戦略特区の設定

- 地域限定の規制緩和で産業を振興
- 自動運転などの新産業に繋がります

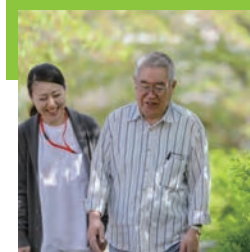
地方財政の安定

大型インフラ誘致

雇用・働き方

02 首都圏での連動

首都圏域のマネジメントを、
埼玉がリードします！



医療介護の越境提供

- 首都圏の介護は越境利用が進行
- 近隣都県合同でプランを作ります

共同避難所運営

共同都市計画策定

共同自治体外交

03 市町村との連動

縦割りをなくし、行政サービスを
確実に届けます！



行政サービスの継続

- 過疎市町村では、役所の人員が不足
- 県内市町村と協力体制を組織します

役割分担の明確化

確実な補助金執行

公共施設の共同整備

PATH-ahead

1兆円投資の県政
- ひと -

1兆円投資の県政とは



将来に借金を残さない。
その視点は確かに重要です。

でも、それで活力が失われたら
本末転倒です。

未来に必要な投資は大胆に行う。

これまで借金返済に充てていた
5,000億円を必要な投資に回し、
それをテコにさらなる5,000億
円の投資を呼び込む。

それが、私の目指す1兆円投資の
県政です。

※国にはものづくり補助金（最大1000万）、リフォーム補助金（最大300万）、農業次世代人材投資資金（最大年間150万）など、いくつもの制度があります。県内での投資を増やしながる国の制度を活用するとさらに数%～数十%の投資額増が期待できます。上記のような良いサイクルを生むために、県が企業や市町村を支援する体制づくりが求められています。

-CO'n'PATH-

01 ひとへの投資

ひとが集まり、躍動する埼玉を
育てます！



「子ども」への投資



保育士の待遇改善

- 保育士の不足が待機児童の一因
- 市町村を支援し、都に負けない待遇を

第1子育児支援

- 身体的・精神的なケアを徹底

子ども医療費助成

- 市町村外受診でも窓口支払いを不要に



「シニア」への投資



健康マイレージの拡充

- 健康長寿で、高齢化をプラスに逆転
- 歩数計以外にもメニュー拡大を

介護職員の待遇改善

- 介護サービス提供体制を強化

就労環境の整備

- 働きたいシニアが働ける環境を



「移住」への投資



移住者の住宅取得支援

- 県外からの移住で、人口減少を補完
- 空き家リフォーム補助など支援強化

ブランド力の強化

- 埼玉居住に憧れを生むPR戦略を

若者の就農支援

- 後継者を斡旋し、耕作放棄を回避

PATH-ahead

1兆円投資の県政
- まち -

02 まちへの投資

ひとが集まる土台となる、
強いまちを築きます！

データで見る埼玉県 -1人当たりの予算額-

平成30年度一般会計当初

予算 7兆460億円
人口 1300万人

東京

約54万円

予算 1兆7228億円
人口 614万人

千葉

約28万円

予算 1兆8657億円
人口 730万人

埼玉

約25万円

これは、近隣の都県に比べ見劣りするだけでなく、全国平均から見ても、非常に小さい額です。

この絞込みが、埼玉県の景気低迷・少子高齢化を打破できない一因です。



交通インフラ



首都圏鉄道の延伸

(高速鉄道、有楽町線、大江戸線など)

- 長年にわたり足踏みしているため、検討を加速して早期実現をめざします

県央への新交通施設

- モノレール・ライトレールを活用

新空港の建設

- 羽田/成田に次ぐ空港を埼玉に



施設インフラ



水道処理の高度化

(大久保、庄和、行田、吉見の各浄水場)

- 現在、県内で高度化されているのは新三郷浄水場のみ
- 他地域も高度化し、水道水を美味しくします

コンベンションセンターの建設

- 新たな用地で、ホテル複合施設を

豪雨対策施設の整備

- 危険地域の雨水貯水施設拡充を



人的インフラ



警察官の増員

- 埼玉県の警察官数³⁾は、全国で最少
- 増員で、まちの治安を守ります

医師の確保

- 埼玉は、医師の数⁴⁾も全国で最少
- 病院と併せ、人材も確保します

※3)県民一人当たり

※4)県民一人当たり

PATH-ahead

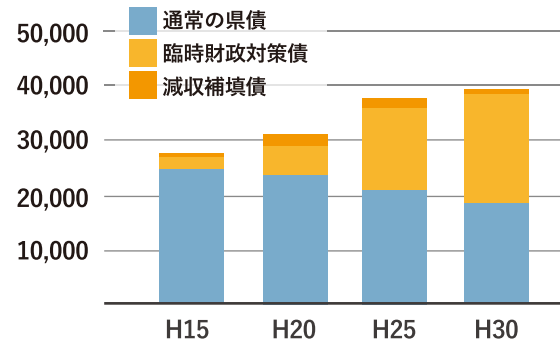
1兆円投資の県政
-しごと-

データで見る埼玉県

-借金の推移-

県債残高の推移

【一般会計(単位:億円)】



この10年、2.5兆円のうち5,000億円が返済され、借金の残高は減りました。

しかし、これは実は「通常の借金」に限ってのこと。

景気低迷・少子高齢化に歯止めが効かないまま、

目先をやりくりする繋ぎの借金は、逆に増えています。

国に臨財債制度の改善を求めます。

03 しごとへの投資

-CO'n'PATH-

暮らしを支え、まちを動かす
しごとを増やします！



新産業

県外先端企業の誘致

- 現在、先端企業向けの環境整備が不十分
- 5G(第5世代移動通信システム)基盤整備やサンドボックス制度(規制緩和)の活用

スタートアップ支援

- プログラミング習得支援や起業拠点整備

宇宙産業の集積

- JAXA地球観測センターとの協力や用地提供



中小企業

事業承継の支援

- 経営者引退に伴い大量廃業の危機
- 県外を含めた後継者発掘・斡旋を

商店街の活性化

- 街おこしの専門家派遣を全県展開

海外展開の支援

- 現地サポートデスクの設置拡大



観光 / 農業

インバウンド観光の振興

- 訪日外国人の埼玉訪問率はわずか1%
- 県内の人気観光地の露出を強化

MICE(展示会等)誘致

- 川越・秩父以外の交流人口を増加

若者の就農支援

- 後継者を斡旋し、耕作放棄を回避